

むらたまち

# 議会だより



## 二十歳の区切りと親に感謝

- 令和4年12月定例会 … 2
- 令和4年第5回臨時会 … 4
- ズバリ!町政を問う【一般質問4人】 … 5
- 常任委員会レポート … 10 他

Vol. **133**  
2023.2.1.

# 一般会計補正予算

# 9785万円追加

## おもな事業

財政課 光熱水費

原油価格高騰にともなう、  
公共施設等の電気料増額に  
係る措置として



2170万円

令和4年第6回定例会は、12月6日から8日までの3日間にわたり開催されました。この定例会では、条例の制定1件、条例の一部改正3件、補正予算6件、指定管理者の指定2件、規約の変更1件が提案されました。また、一般質問は4人の議員が、町の考えや対応について質しました。

農林課 農業振興費

経営発展支援事業補助金  
新規就農者支援金として



374万円

A

現在、道路本体の改良工事を発注し、第一中学校南側法面及び東側法面白鳥神社鎮守の森の立木伐採を進めている。その後に、七小路地区の第一中学校南側付近の本体土工、掘削、盛土、排水構造物の工事を進める。

Q

都市計画街路小池石生線県事業負担金(4560万円)の進捗状況は。

A

塩内グラウンドの西側の休耕田約9800㎡を駐車場など多目的利用のため取得するもの。また、コロナ禍における健康増進を目的に児童遊園遊具整備をするもの。

Q

公園管理費の公有財産購入費(1110万円)、工事請負費(694万円)の内訳は。

議案第58号 令和4年度村田町一般会計補正予算(第7号)

第6回定例会議案  
質疑応答  
(抜粋)

# 令和4年第6回 定例会の議案と採決結果

議案名	採決結果
<p>条 例 (制定・一部改正)</p>	
<p>■議案第54号 村田町学校給食費に関する条例の制定について 文部科学省通知で、学校給食費の徴収は「学校以外が担うべき業務」と示されたことから、国の方針を受けて町が保護者から徴収するため制定するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第55号 村田町議会議員及び村田町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例 町の選挙運動の公営は、国に準じて行っていることから町選挙における公営について見直しを行うため改正するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第56号 村田町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第57号 村田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 行政職給料表7級の導入するにあたり給料表等を改正するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>補正予算</p>	
<p>■議案第58号 令和4年度村田町一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9785万円を追加するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第59号 令和4年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ46万円を追加するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第60号 令和4年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1056万円を追加するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第61号 令和4年度村田町上水道事業会計補正予算（第2号） 上水道事業会計予算の収益的収入及び支出の予定額を補正するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第62号 令和4年度村田町下水道事業会計補正予算（第2号） 下水道事業会計予算の収益的支出の予定額を補正するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第63号 令和4年度村田町工業用水道事業会計補正予算（第1号） 工業用水道事業会計予算の収益的支出の予定額を補正するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>指定管理者指定・規約の変更</p>	
<p>■議案第64号 指定管理者の指定について 指定管理施設 村田町物産交流センター 指定管理者に指定する団体 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 指定期間 令和5年4月1日から令和8年3月31日まで</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第65号 指定管理者の指定について 指定管理施設 姥ヶ懐民話の里ふるさとおとぎ苑 指定管理者に指定する団体 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 指定期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>
<p>■議案第66号 仙南地域広域行政事務組合規約の変更について 仙南地域広域行政事務組合経費の支弁方法関係を変更するもの</p>	<p>原案可決 賛成 11：反対 0</p>

# 一般会計補正予算

# 1億523万円追加

## おもな事業

学校給食センター 教育費

### 学校給食費負担軽減事業

給食費の値上げによる保護者への追加負担を回避し、物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減



**200**  
万円

健康福祉課 民生費

### 電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金事業

1.対象となる世帯

- ① 非課税世帯等
- ② 家計急変世帯

2.支給額 1世帯あたり5万円

**5500**万円

まちづくり振興課 商工費

### 原油価格・物価高騰支援事業

町内全世帯、65歳以上の高齢者、18歳以下の子どもに対し、それぞれ5千円分のクーポン券を配布



**4700**  
万円

臨時会は、10月28日に開催され、条例の一部改正3件、補正予算1件が提案されました。

## 令和4年第5回 臨時会の議案と採決結果

議案名	採決結果
条例 (一部改正)	
■議案第50号 議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部を改正する条例 令和4年8月8日発出の人事院勧告によるもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第51号 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 令和4年8月8日発出の人事院勧告によるもの	原案可決 賛成 11：反対 0
■議案第52号 村田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 令和4年8月8日発出の人事院勧告によるもの	原案可決 賛成 11：反対 0
補正予算	
■議案第53号 令和4年度村田町一般会計補正予算 (第6号) 歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ1億523万円を追加するもの	原案可決 賛成 11：反対 0



- **山家 大 議員** (6ページ)
  1. 町内で消費できる、ふるさと納税返礼品を。
- **大沼 吉隆 議員** (7ページ)
  1. 令和5年度予算編成の主眼は。
  2. 本町特産品を活かした農業振興策を。
- **鈴木 宏 議員** (8ページ)
  1. 10年後も農業を続けるためには。
- **菊地 睦夫 議員** (9ページ)
  1. 带状疱疹の予防接種に町の助成を。
  2. 高齢者の補聴器購入に町の助成を。

#### 一般質問とは?

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。



山家 大 議員

# 村田町商品券を ふるさと納税返礼品に

## 「ふるさと納税自動販売機」の導入を

### 質問1

ふるさと納税自動販売機を導入してはどうか。

### 町長答弁

村田町での導入は費用対効果や寄附金に対する経費率を考えると難しい。

### 追質問

自動販売機を道の駅に設置し、そこで村田町商品券を返礼品として取り扱うことで、観光客が蔵の町並みや町内のお店に足を運ぶきっかけになるのでは。

### 財政課長答弁

蔵の町並みなどへの誘導は個別に違う方法で取り組む。

### 追質問

ふるさと納税の周知も重要である。村田町商品券を返礼品に加えることで町内事業所も広報の担い手となるため効果的と考

えるが、今後の周知への取り組みは。

### 財政課長答弁

インターネットでの広報は効果がある。また関東圏からの寄附が多いため、そちらに向けて周知を行う。



自動販売機でふるさと納税する流れ

### 追質問

返礼品は地場産品が前提であるが、町内のみで使用可能な村田町商品券を地場産品として認識しているか。

### 財政課長答弁

村田町の食材購入、飲食店やレジャー施設などで使用できる商品券は地場産品と認識している。

### 追質問

自動販売機の導入費用に関しては、すでに返礼品として好評の「そら豆」や「とうもろこし」を自動販売機で引換券として取り扱い、並ばずに買えるなどの売り込みで早期に費用回収が見込めるのでは。

### 財政課長答弁

手法は様々あるが、まず初期費用(約340万円)が高額である。今後メリット・デメリットを検証する。

## 地域での 消費拡大を促す 「電子商品券」

### 質問

ふるさと納税ポータルサイトで、自治体が指定した店舗や施設で使用できる電子商品券を返礼品として取り扱う仕組みを導入してはどうか。

### 町長答弁

町、事業者、寄附者のメリットは十分にあり、令和5年度からの実施に向けて進めている。

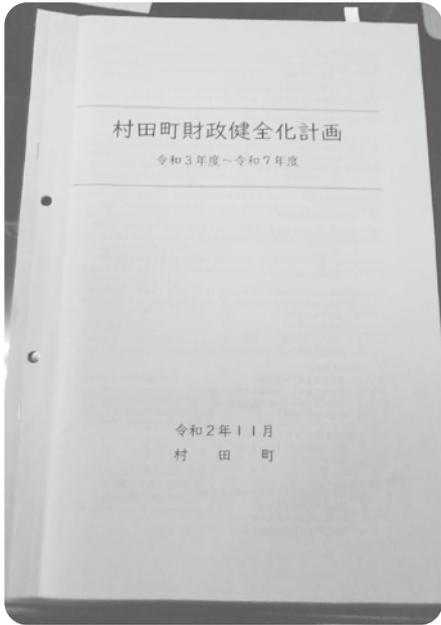


ふるさと納税  
電子商品券の概要



## 令和5年度予算編成の主眼は 町長 子育てや教育環境の充実を図る

大沼吉隆 議員



財政健全化計画書

質問1

令和5年度の町政運営にあたり、町民の福祉向上に向けた住民ニーズに沿った新たな投資と、既存事業の様々な課題解決に向けた施策をどのように捉え、予算編成の主眼をどこに置くのか。

町長答弁

令和5年度の予算については、「子育てや教育環境の充実」を主眼におきながら、国の施策の動向に注視し、財政健全化に向けた取り組みの徹底と、町民の福祉の増進につながる施策の展開を図ることができる予算編成に努める。

質問2

令和5年度財政収支見通し額と、令和5年度一般会計予算規模及び事業推進の関連性についてどう認識し編成作業をおこなうのか。

町長答弁

令和5年度財政見通し額については、外部の学識経験者などで組織する「財政健全化推進委員会」において、了承され、「推進本部会議」で財政収支の見直しを決定した。

見直し後の財政収支見通しを踏まえ、令和5年度の予算規模は4年度と同様に51億円程度と見込んでいます。

## シルバー人材センター活用農家の支援は 町長 高齢化支援対策の一つの選択肢として検討



本町特産「そら豆」の越冬栽培

質問

本町の特産品(そら豆)については、東京及び仙台市場でも品質・食味とも好評で引き合いが多く需要に供給が追いつかない状況であり、生産量を増やすことが市場からの要求でもあると感じています。

増産にともなうマンパワー不足について、シルバー人材センターを活用した生産者への支援が必要と思うが。

町長答弁

生産者の確保、面積の拡大については、シルバー人材センターの活用も生産者の高齢化支援対策の一つの選択肢として検討する。また、道の駅での出荷確保に向けて、町独自の支援ができないか検討する。

# 10年後も農業を続けるためには

町長 ほ場整備事業を推進し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えることを目指す。



鈴木 宏 議員

質問1

ほ場整備事業での推進体制の在り方や計画区域の考え方などについて、もっと具体的に積極的な実効性のある取り組み内容の説明を伺う。

町長答弁

令和4年度からほ場整備事業推進強化のため、室長と専属職員1名、兼務職員3名を配置し、世話人会協議時に事業内容の説明、資料作成やアンケート調査実施への相談、作成などの支援を行っている。また、アンケート調査結果の分析などは、農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増加や、地域農業の衰退が懸念され、農業者の現状並びに10年後の農業経営に関する意向を把握し、ほ場整備の意義、担い手への集積、集約の必要性などを理解してもらったための基礎データであり、事業への賛否、事業への理解度、農地の規模

拡大、縮小、現状維持や担い手の状況など把握のための検討資料として活用している。

追質問

小泉地区の事業を前に進めるためには、役員だけでは進まない。世話人会を早く協議会にして事業に結びつけるべきと思うが。

農林課長答弁

11月30日締めで3回目のアンケート調査を実施し集計中である。この地区がどう進めばいいのか調査分析していく。



ほ場整備事業

質問2

農地周辺の森林環境が手付かずで放置され、野生動物によって農作物被害が甚大であることに、どう対処するのか伺う。

町長答弁

近年、不在地主の増加傾向で、下刈りや間伐など本来すべき森林管理の行き届かない森林も増加傾向となり、隣接する農地の有害鳥獣による被害増加の一因に。野生動物対策への基本的な考え方は、捕獲による「個体数管理」電気柵、ワイヤーメッシュ柵による「被害防除」に加え、野生動物が出没しにくい集落と、その周辺の環境を作る「環境整備」がある。耕作放棄地の解消、エサとなる柿や栗などを放置しない、集落近辺の森林環境の整備も大事。

町では森林経営管理法に基づく森林経営管理集積計画の策定中で、令和3

年度に全森林所有者にアンケート調査を実施。令和4年度に意向調査対象森林の絞り込みと航空写真地図への図化を進行中である。令和5年度にモデル地区への意向調査、令和6年度以降には集積計画策定完了次第、年次計画による下刈り、間伐などの人工林整備に着手する。



森林環境の整備



菊地 睦夫 議員

## 1. 带状疱疹の予防接種に町の助成を

質問

带状疱疹とは、子どもの頃に感染する「水ぼうそう（水痘）」のウイルスが原因で、50歳以上の日本人のほぼ100パーセントの方が潜在的に保有し、働き盛りの50歳を過ぎた頃から発症が急増し、80歳までに3人に1人が発症すると報告されています。

带状疱疹の特徴は、「表1参照」、の通りその中でも「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる症状は「電気が走るような痛み」「焼けるような痛み」と表現され、日常生活に深刻な影響を及ぼすとされています。

带状疱疹ワクチンの有効

性と接種費用は「表2参照」で示しているように接種費用は高額です。

10月20日現在、全国で約47自治体が様々な形で公費助成制度を入れており隣の川崎町でも助成をしています。

そこで、带状疱疹の予防接種に町として助成が必要と思うが町長の見解を伺います。

町長答弁

現時点においては、実際に接種する医療機関に対しても、新型コロナウイルスの感染拡大している中、新たな業務をお願いすることになり、調整が必要になるので、国の動向や近隣市町村の助成状況などを注視しながら検討してまいります。

表1

はじめは「ヒリヒリ」「チクチク」といった皮膚の痛み。その後、水ぶくれを伴う赤い発疹が带状に広がる。眠れないほどの激しい痛みを伴うことも少なくない。腕や胸、背中など上半身に発症することが多いが、顔や首などに症状が現れることもある。後遺症として、痛みが長引くことを带状疱疹後神経痛（PHN）と呼び、治療には主に抗ウイルス薬を用いる。

表2

2種類の带状疱疹ワクチン

生ワクチン (ビケン)	不活化ワクチン (シングリックス)
接種回数1回	2回
予防効果約51%	約97%
費用 約1万円	1回当たり約2.5万円

出典 2022年12月13日より(公明新聞)

## 2. 高齢者の補聴器購入に町の助成を

質問

補聴器の平均価格は日本補聴器工業会の調査によると、片耳で15万円で通常は両耳に対応する補聴器を購入するため、30万円かかることとなります。

高齢者の方が約30万円を出して購入するのは大変だと思います。

日常生活において耳が聞こえないことは、家族や友人と会話をしても何回も同じ話をしても伝わらない、聞き返せば普段の音量でも大きいと言われ、そのうち会話にも入れず1人孤独となり認知症にもなりやすくなる、心配されます。

そこで、高齢者の方の補聴器購入に町が助成をすべきと思うが町長の見解を伺います。

町長答弁

県内では本年5月から富谷市が助成を開始しており、国では認知症研究の一環として、難聴改善による認知機能の低下予防について、研究中と伺っているため、今後の国の施策を見て、他市町村の取り組み状況も踏まえ検討してまいります。

# リポート

## 普通財産の管理について (11月7日実施)

### 総務常任委員会

#### 旧第三小跡地利用は

#### 用途指定の解除が焦点

#### ① 行政財産

行政財産とは、町において公用または公共用に供することを決定した財産をいう。

#### ② 普通財産

普通財産とは、行政財産以外の財産であり、交換、譲与、無償貸付、処分管理等を行っている。

#### ③ 旧村田第三小学校跡地

文部科学大臣に対し、財産処分手続をしなければならぬ。都市計画用途地域により「第一種中高層住居専用地域」に指定されている。跡地利活用は、難しい状況となっているが検討を進めていく。

#### ④ 石生宅地造成事業について

移住・定住を促進する施策と旧町営住宅（8棟）を解体し、令和5年度からの販売を目標に事業を進めている。

#### ○委員会所見

行政財産については、本庁舎を始め公共施設、公営住宅など施設の老朽化が顕著となっている。旧第三小学校跡地の利活用は「第一種中高層住宅専用地域」に指定されており、敷地の利活用が制限されている。有効な利用が図られるよう用途指定の見直しも視野に協議することを望む。

宅地造成事業は、宅地販売を促進する上で進入導路の狭さが懸念されるため、道路環境整備の検討を求めたい。



利活用の制限がかかる旧第三小学校跡地

## 鳥獣保護及び有害鳥獣対策について (11月11日実施)

### 産業建設常任委員会

#### ①被害の現状と対策

本町の鳥獣による農作物被害は、ほとんどイノシシによる被害で水稲が7割、野菜の被害が3割となっており、被害の増加による生産意欲の低下を起因とする耕作放棄地増加が懸念されている。また、農作物以外に田畑の畔、水路や道路の法面の掘り起こし、車との衝突事故など、社会生活にも大きな影響、不安を与える状況となっている。

鳥獣被害の対策としては、令和3年度に菅生櫛道地区及び薄木地区において、宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を活用して有害鳥獣侵入防止柵の設置を実施した。

#### ②令和4年度の取り組み

令和4年度においても宮城県鳥獣被害総合支援事業に取り組み、菅生下地区、小泉大門地区で侵入防止柵の設置を完了しており、11月から薄木地区、沼辺南地区でも設置が開始される。

また、宮城県鳥獣被害防止対策広域連携支援業務等を利用し、次の事業を検討している。

- ①有害鳥獣対策研修会
- ②集落点検及び被害マップの作成
- ③侵入防止柵設置ルート  
の検討

#### ○委員会所見

水稲・野菜を中心とした農作物に有害鳥獣による被害が毎年同様に発生しており、被害やイノシシの生息数を大幅に減少させるまでに至っていない。地域ぐるみによるワイヤーメッシュ柵と電気柵の拡大と、隊員の増強や被害マップの作成による捕獲の強化と共に、森林環境譲与税を有効に活用した森林整備を行い、イノシシによる被害が軽減されることを期待する。

#### イノシシの被害額と捕獲頭数の推移

年度	被害額 (千円)	捕獲数 (頭)
平成29年度	2,531	192
平成30年度	2,507	383
令和元年度	3,795	515
令和2年度	4,471	571
令和3年度	3,720	466

# 常任委員会

## 健康対策について(11月2日実施)

### 教育民生常任委員会

#### ◆主な事業内容

- ①健康推進事業  
・朝ごはんの推進や肥満児への個別指導など  
・「歩こう！むらた」事業や、飲酒、喫煙健康被害の情報発信など
- ②母子保健事業  
・フッ化物洗浄など、主に虫歯に対する支援指導
- ③健康診査事業  
・40歳全員に各種がん検診の受診表送付や、個別検診受診医療機関の拡充など
- ④こころの健康づくり  
・ゲートキーパー養成講座やひきこもりの実態把握、相談機関の周知など
- ⑤感染予防事業  
・子宮頸がんワクチンの積極的勧奨、風しん予防未接種世代の抗体検査とクーポン券による接種勧奨・接種の実施  
・新型コロナウイルスワクチンの有効性の周知
- ⑥救急医療  
・夜間救急医療の充実  
・休日救急医療の充実



#### ○委員会所見

検診受診率は若干向上しているがまだ低い。目標値を設定し検査の中間や負担の軽減が必要であり、成功している自治体の取り組みを参考にしていきたい。

「歩こう！むらた」ではイベントも絡めると運動を始める契機として一層効果的ではないか。

マイナンバー保険証の一体化が始まった。利用可能な医療機関の把握と、未導入の機関への導入を進めていく必要がある。

令和6年度予定の後期高齢者医療保険料上限額引き上げで病院診察減少が見込まれる。これも考慮した対策を。

## 議会広報研究会に参加

### 議会広報編集特別委員会

令和4年11月15日、宮城県自治会館において宮城県町村議会議長会主催の議会広報研究会が開催されました。講師に議会広報サポーターの芳野政明氏を招き、講演およびクリニックの2部構成で広報誌についてご指導いただきました。

#### 第1部 講演

「住民に読まれ、伝わり議会の見える化へ」  
～議会広報の基本と編集～

#### 第2部 議会広報クリニック

県内町村の議会議員や事務局など約150名が参加し、第2部のクリニックでは実際に発行された県内の議会広報誌などを事例に学ぶことができ、大変有意義な研究会となりました。

この研修で学んだことを活かし、町民の皆様にご覧いただける議会だよりを目指していきたいと思えます。



各議会からの参加者



講師 芳野政明氏

# わたしの思い

## 「エコな暮らし」

森 節子さん(本町)

私が村田町の住人となって、はや五十年になろうとしています。七人家族から今は夫と二人暮らしです。その間、いろいろな出来事がありました。昭和五十五年、夫の転勤で、子供三人を連れて千葉県松戸市に住むことになりました。長男は四歳、次男二歳、三男は生まれて二ヶ月の乳飲み子でした。住宅はエレベーターのない四階の部屋で、何をす

るにも階段の上り下りをしなければならぬ毎日でした。最初の二年間は、長男の幼稚園の送り迎えがあり、三男を背負い、次男をつれて大変だったことが懐かしく思い出されます。

私は自宅で一番若かったので、先輩のお母さんにいろいろな面で助けられ、子供達も社宅のお兄さん、お姉さんに可愛がって貰い、大家族のようでした。お陰で、すくすくと育っていったことに、感謝しています。

幼稚園のお母さんから誘われて、子育て支援のサークルに参

加した時のことです。子育ての仕方や悩みなどから、子供の将来の話になり、地球環境の破壊が深刻になっていることを初めて知りました。毎日の忙しさに紛れて、気付かなかった私には、とても衝撃的でした。

それから自分でも出来るエコな暮らし方を始めました。レジ袋をやめてマイバックに、使っていない電気はこまめに消す、水道の蛇口は大きく開かず水量を抑える、車の運転も毎日はない、食料品は賞味期限の近いものを買う。

地球の温暖化は気候変動を起こし、私達の身近なところで、大きな災害をもたらしています。一人の出来ることは小さくても、多くの人が関心を持ち、行動すれば、大きな力となります。子供達に良い未来を残す為にも、自分の出来ることから始めてみませんか。

## 文化の日表彰を伝達

令和4年12月定例会開会冒頭、村上登議員が多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の振興に寄与された功績により、文化の日表彰の伝達が議場にて行われました。



## 編集後記

昨年はウクライナ戦争に始まり、物価高、コロナ等、私たちを取り巻く環境は混とんとしています。本年は兎年です。兎年は「これまでの努力が花開き、実り始める」と言われています。そのような一年となります。福社向上のため、誠心誠意議会活動をしてまいります。

また今後も研鑽を積みながら、見やすく読みやすく皆様に親しまれる議会広報となるよう努力してまいります。

議会広報編集特別委員会

委員 吉野 敏明

## 次の定例会は 3月3日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より  
<https://www.town.murata.miyagi.jp/>  
コンテンツ「議会」から「議会中継」へ  
アクセスしてください。

本会議の日程については、  
町ホームページの「本会議開催予定表」で  
お知らせしています。

村田町議会公式Facebook  
はじめました

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

発行・編集責任者  
議長 遠藤 実  
議会広報編集特別委員会  
委員長 菊地 夫 陸 隆 大 宏 信 登 明 美 博  
委員 長 大 山 鈴 村 吉 野 太 田 鈴  
副委員長 員 員 員 員 員 員 員